

近計システム *10*年ビジョン

**10-year vision ,2027**

2017年12月1日



## introduction

### はじめに

私ども近計システムグループは、創業以来55年間にわたり、幅広く技術開発力を磨き、お客さまに選ばれ続けることを旨として事業を継続してまいりました。

社是にも掲げておりますとおり、『人』に重きをおき、『社会』に貢献するという理念は、これまでもこれからも不変のものと考えており、この考えを礎として前進してまいります。

一方、近計システムグループをとりまく事業環境は、急激な変化の真ただ中にあります。

未曾有の自然災害が国民の生活をおびやかしている状況下、2016年4月には、電力小売全面自由化が実施され、2020年4月には一般送配電事業の法的分離が実施される見込みです。

これらの環境変化は、近計システムグループにとって過去に例を見ない急激な波ではありますが、

この波をお客さまからの新たな創造課題ととらえ、

更なる成長の方向性をステークホルダーの皆さまにわかりやすい形でお知らせするため

近計システム『近計システム10年ビジョン:2027』を策定しました。

近計システムグループは計測・監視技術で国内のみならずグローバルな視点から

膨大かつ重要な社会インフラを『支える』ことにより安心・安全をご提供し続けることを使命とし、

社会の発展に貢献し社員ならびにその家族が幸せを享受できる企業を目指してまいります。

2017年12月 株式会社近計システム

代表取締役 **長澤 隆士**

# 2027年ビジョン

創造性の高いコア技術と幅広い技術領域を集結して、  
グローバルな市場・分野で社会貢献できる企業を目指す。

# Global Contribution to Society

## 2027年ビジョンの行動指針

成長し続けることにより、  
強い事業基盤と近計ブランドを確立し、  
ステークホルダーにとっての価値向上と  
全社員の幸福を追求する。

### 近計スピリッツ

#### 経営理念

- 技術の向上をもって社会に貢献し、  
社業の発展と社員の幸福をはかる。
- 仕事に自信と誇りをもって社会に貢献し、  
社業の発展と社員の幸福をはかる。

### 成長エンジン

技術向上への取り組み

社業発展への取組み

社員の幸福への取組み

2027年ビジョンと技術マップ

社業発展への取組み

社員の幸福への取組み

# 2027年ビジョンへの取り組み



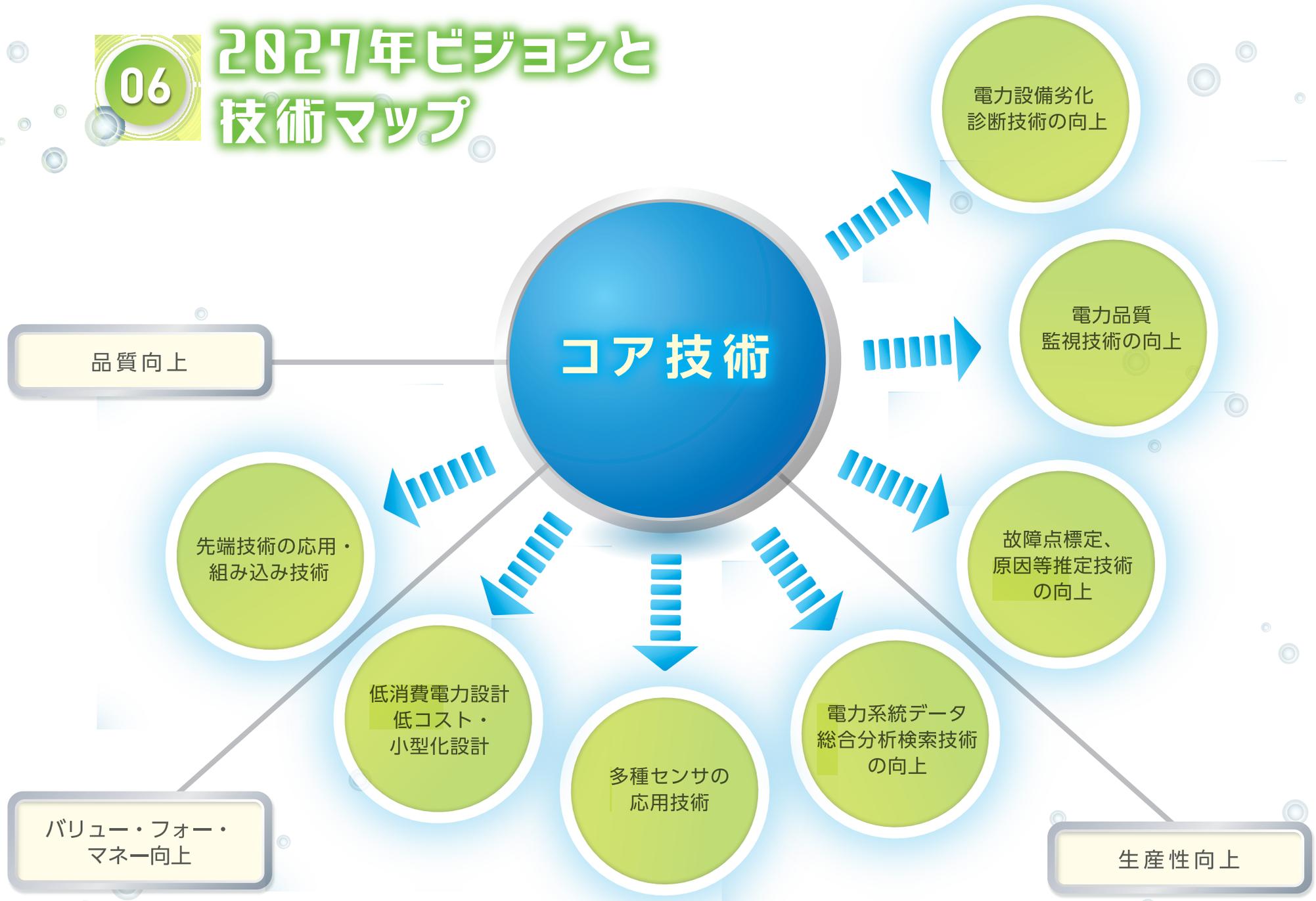
相相互作用で達成をめざす

2027年ビジョンと技術マップ

社業発展への取り組み

社員の幸福への取り組み

# 06 2027年ビジョンと 技術マップ



2027年ビジョンと技術マップ

社業発展への取り組み

社員の幸福への取り組み

品質の向上

お客さまに感動していただける製品品質の実現

お客さまに安心していただけるサービスの提供

生産性の向上

製品のプラットフォーム化( 共通化・シンプル化)を推進

生産性アップによる短納期の実現

バリューフォーマネーの向上

製品の品質と性能の維持・向上を図り、製品価値のアップを実現

少子化が続く社会への対処として、  
自動化・省力化できる製品・ソリューションを提供

品質の向上  
2027年ビジョンと技術マップ

社業発展への取り組み

社員の幸福への取り組み

# ● 社業発展への取り組み

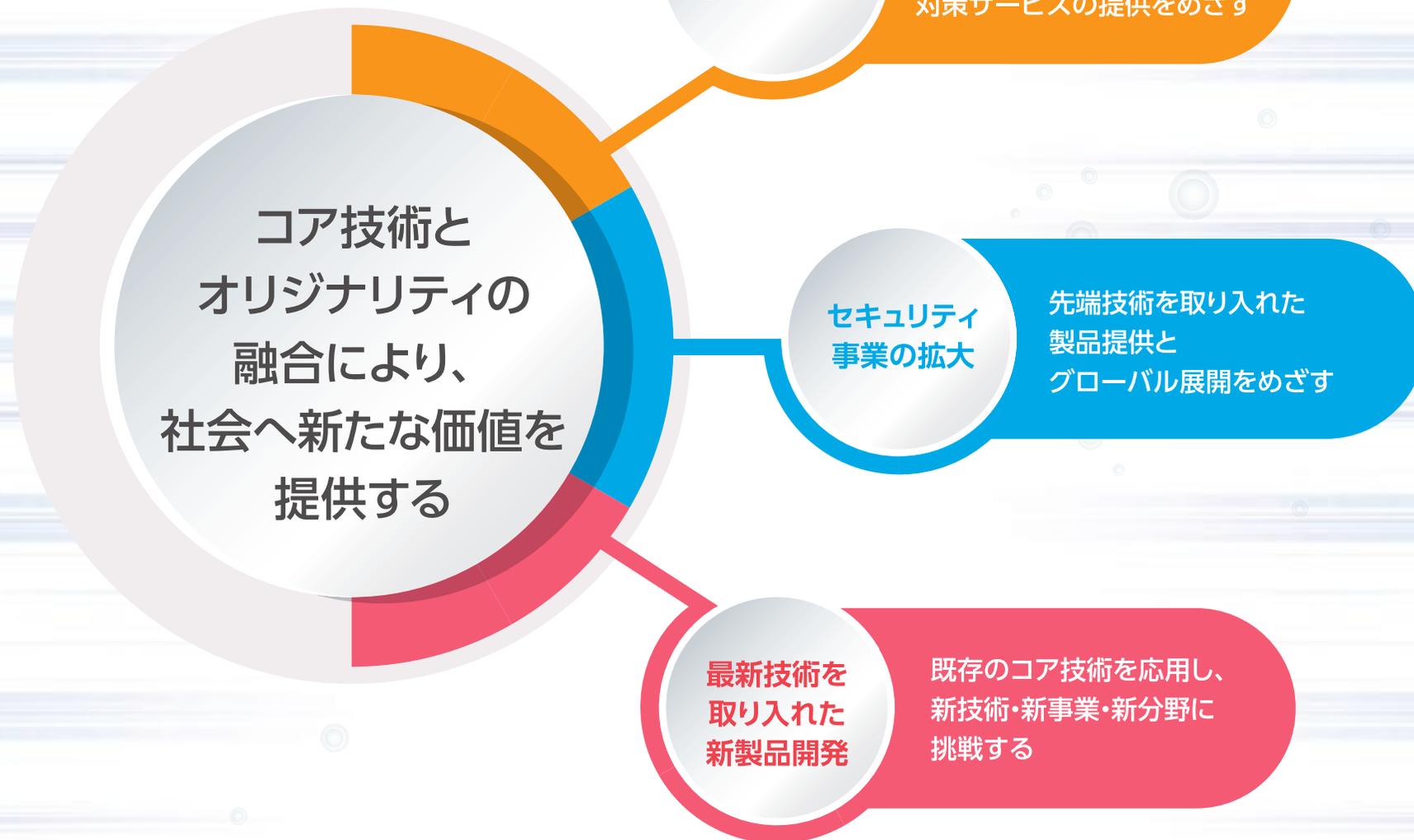


2027年ビジョンと技術マップ

社業発展への取り組み

社員の幸福への取り組み

## 新たな技術を 新しい事業へ



2027年ビジョンと技術マップ

新たな技術を新しい事業へ大  
社業発展への取り組み

社員の幸福への取り組み

## 社員の幸福への取り組み

### 「近計らしさ」の 確立・強化

半世紀以上にわたり培ってきた  
企業風土を継承しつつ、さらに強化し、  
社員の行動規範、心の拠りどころとする。

### 社員が働きやすい 就業環境の整備

ライフステージに応じて  
生活ニーズが変化するなか、  
安定した生活が送れる就業環境を実現する。

近計システムは  
社員が幸福な企業を目指す

## 近計らしさの確立・強化

### お客さま志向

お客さま利益を第一に考え、  
より柔軟・迅速に意思決定・行動する組織体制・風土を築く

### プロフェッショナル志向

『こだわり』をもった匠の心を育む  
(設計、ものづくり、品質へのこだわり)

### 学習する組織

社員の自由な発想や行動が、組織に新たな知識(資産)をもたらす。

### 円滑なコミュニケーション

「少数精鋭」に基づく人員構成の利点を生かし、  
職場内の上下・左右を始め、部門横断的にも情報発信・受信を行う。



**Many thanks !**